

令和 4 年度 沖縄ライフサイエンス研究センター指定管理者制度運用委員会  
におけるモニタリングの検証結果について  
(令和 4 年度実績分)

1. 施設名：沖縄ライフサイエンス研究センター
2. 開催日時：令和 5 年 7 月 21 日（金） 13:30～16:00
3. 開催場所：沖縄県庁 1 1 階第 2 会議室
4. 出席者：委員 4 人中 4 人出席  
(会長) 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 新里 尚也  
(委員) 来間税理士事務所 税理士 来間 博一  
(委員) 沖縄科学技術大学院大学 施設管理セクションリーダー  
シニアマネージャー 甲斐 敦夫  
(委員) 株式会社 AVS S 沖縄研究室 統括研究員 春山 貴弘  
(事務局) 科学技術振興課  
(指定管理者) イノベーションサポート沖縄株式会社
5. 検証事項：沖縄ライフサイエンス研究センター（令和 4 年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
  - (1) モニタリングは適正に行われているか
  - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
  - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
  - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
  - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
  - ・施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見
  - ア (質問) 収入について、令和 3、4 年度において令和 2 年度より収入計が減少している理由はなにか。  
(回答) 令和 2 年度までは、県から指定管理者に対して管理運営経費として指定管理料を支払っていたが、施設の入居率も 100% 近くになり、収益の見込める施設となったため、令和 3 年度から協定書の制度変更を行い、指定管理料の支払いがなくなった。そのため、指定管理者としては指定管理料の分だけ収入が減となった。

- イ (質問) 共用機器の利用件数について、前年度に比べて利用件数は減少しているが、高額機器の利用が増えていることにより収益は上がっている。工夫した点は何か。
- (回答) 指定管理者により、外部からの機器利用を伸ばすために本土企業へ営業をかける等の取組を行った。
- ウ (意見) 共用機器の利用料金について、単価が高いとの意見があったので、利用回数に応じて利用料金を下げる等のインセンティブを与えて、特に消耗品がかからないような機器については、稼働率を上げていくような検討をしてはどうか。
- エ (質問) 財務関係について、諸物価等の上昇によって、指定管理者ではコントロールできないような経費の増になっているとの意見に対し、県は収支の改善が望まれるとの分析を行っているが、県としてはどのように対応していくのか。
- (回答) 現在、4月5月含めて月毎の最新の収支状況を確認しているところで、電気料金の高騰の状況等も踏まえて、状況に応じて調整を行っていく。
- オ (質問) 小規模修繕のところで空調機については、不具合を未然に防ぐ予防保全にも取り組む必要があると記載されているが、通常は壊れてから対応するのが普通で、予防保全で計画していくのは難しいと思うが、どのような計画を立てるのか。
- (回答) 空調機については、24時間稼働している部屋もあり、通常の耐用年数よりも早く故障が発生する可能性がある。また、部品調達に時間がかかるものもあるため、故障した際に入居者へ多大なご迷惑をかけることがあるので、調査で異音や錆等を確認したものについては、部品交換にて予防保全で修繕を行いたいと考えている。
- (意見) 空調の故障というのは、日常茶飯事で起こっており、予防保全での修繕はほぼ不可能に近いと思うが、ある程度の部品を持って急な故障に対応できるようにすることが、予防修繕に近いと思う。大規模な修繕を計画的に行わないといけないような熱源の更新などは、例えば15年20年おきに数千万か1億とかいう予算を組むが、空調の修繕に関しては、そういう予算は組めないもので、年間である程度予算を組んで、それで臨機応変に対応していくということぐらいが、利用者に対する一番のサービスかと思う。また、大きな課題にはなるが、これまで様々な施設設備に関する問題が発生して、いろいろ解決してきたと思うが、それを知見として記録に残し後身に残すためのデータベースを作成してはどうか。
- カ (質問) 小規模修繕について、今後、指定管理者が負担する50万円未満の修繕の件数が増えてくると思うが、県としてはどういう対応をするのか。
- (回答) 令和8年度からの次期指定管理の際に、小修繕も含めた管理諸費用の見積の見直しを行う。また、50万円という金額についても変更するかどうか県内部で調整を行うことになる。
- (意見) 指定管理者にはどうしようもないようなコスト・人件費アップな

ど、そういったものが負担となるのであれば、県の方でも積極的に負担を軽減するようなことをするようにしていただきたい。

キ (質問) 令和 4 年度は共用機器の修繕が少ないように感じるが、稼働率が低いためか。また 10 年たって機器としては陳腐化しているような機器もあると思うが、更新等についてどう考えているか。

(回答) 修繕数については令和 4 年度はたまたま少なかったと思われる。50 万円以上の県修繕も例年数件はある。今後の更新については、10 年目でもあることから稼働率の低い機器もあるので、使用状況等をみて判断していきたい。ただ、同じ入居者でも使用する機器が年度によって変わることもあるため、見極めが難しいというのが現状。

ク (意見) 入居者サービスについて、もっとここで続けたいと思わせるようなサービスがあるとよい。また、研究員やスタートアップで一番弱いのが、情報発信を担うような営業部門。発信するすべがなかったり、そこに人を回せなかったりとかそういう事情があるのは事実なので、センターのほうで定期的に企業がこんなことをやりました等発信していただくと助かる。各メディアには打診したりもするがなかなか限界があるので大変ありがたい。

ケ (質問) 施設の増設等は検討しているのか。

(回答) 当センターの入居率は 100%だが、類似施設の建設の話もあることと施設を作るとなると長期的な計画になることからその点を見極めたい。

(意見) ニーズはあるので、施設整備ができると非常に理想的かなとは思う。

コ (質問) 不正アクセスについて説明してほしい。

(回答) 指定管理者が管理運営するライフサイエンスセンターのホームページに不正アクセスがあり、共用機器の写真が一枚差し替えられた。指定管理者は迅速に対応し、特に大きな問題にはならなかった。また、旧ホームページに脆弱性が見つかったため、即座にホームページを閉鎖し、令和 5 年 4 月からは新たにホームページを立ち上げた。

## 10. 会議の公開状況：公開